

# 地域に蓄積する職人業を生かし新たな市場創出へ！

会社名 株式会社坪川毛筆刷毛製作所  
所在地 広島県呉市川尻町森2-10-1  
資本金 1,000万円  
業種 毛筆・刷毛・化粧筆の製造販売

月の浦筆

## 支援を受けるにあたって掲げた事業上の目標

Before

- 競合他社との差別化、高付加価値化を図り、商品ラインに則した販売計画の構築を目指す。また、将来の安定供給に対応できる体制構築を目指す。
- 職人業(ノウハウ)を適切に保護し、他者による模倣品への対策を講じつつ、高品質の製品を長期的に提供していく。

## 支援を受けてできるようになったこと

After

- 既存製品のブランド認知度向上と新市場の開拓が必要と判断し、原材料の効率的な利用を考慮して、新製品の企画に注力。当初は予期していなかった「地域団体商標」の取得を契機に地域支援や組合の活性化策へ展開させることができた。

## 今後の事業展開の展望

Future

- ブランド化、新規製品開発については今後自社で進めていく。書家とのコラボ等によるブランド力強化とお客への訴求を図っていく。
- 新たな高付加価値製品としてフィギュア用メンテナンス筆を上市。今後、収益の柱の一つとして用途展開を図っていく。
- 組合と地域との連携強化により川尻筆の伝統を継承する動きと、認知度向上への活動が加速化させていく。

## 加速的支援を受けた事業や商材



川尻筆のものづくりの優れた技能をもつ職人が高級筆を生産している。他社や工機では生産できない高品質な筆を提供。他方、書道人口の低下などにより、売上げの減少が続いており、打開策を検討していた。最高級の前毛である古羊毛を使った化粧筆を新たな事業の柱にすべく注力しており、国内外の富裕層に販売して、日本文化を前面に打ち出して高付加価値商品の販売比率を高めたいと考えている。

【出典】株式会社坪川毛筆刷毛製作所ホームページ  
<https://www.kawajiri-fude.jp/>



## 加速的支援を実施するにあたって整理した課題

取り組んだ課題	課題に取り組んだ背景・理由
ブランド価値向上、マーケティング戦略	これまでもSNSを活用した商品の認知度向上やネット業者を通じて国内外の販路開拓を実施してきているが高品質商品でありながらコアターゲットへのアプローチが弱く売上げ等になかなか結び付いていない。毛筆、化粧筆、汚れ落としの商品ごとの販売チャネル等の販売戦略がなく、ターゲットへの訴求ができておらず、化粧筆、毛筆の高級品のブランドコンセプトが曖昧なため、市場に埋没している。
知財管理及び戦略立案	過去に実用新案権を取得していたが体制、管理不十分のため権利喪失し優位性を持てなかった経験がある。このことから、商標、意匠権等、今後権利化するものに対する戦略、体制を着実に確立する必要がある。他社からの模倣品対策や契約による知財保護の仕組み構築も必要。
サプライチェーンの検討	サプライチェーンの川上(原毛を取り除く業者)が廃業し商品製造等に支障を来している。国内には業者がいらないため中国の業者に発注するに当たり検疫や業者管理等のリスクがある。
人材育成の検討	商品の付加価値を支える職人技のノウハウが保たれ高品質商品の生産が持続可能とすることが必要。

## 加速的支援を通じて受けた支援と支援を通じてできるようになったこと



支援を受けた事項	支援を通じてできるようになったこと	活用専門家
企業と商品のブランディング・プロモーション戦略の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>リブランディングの方向性を示し、統合ブランドを提案。地元著名書家との出会いを導きその先へ展開。</li> <li>既存のラインナップは修正せず「フィギュアお掃除筆」の製品開発企画を立ち上げ、明年の展示会で上市を目指すことに。新たなターゲット層の確保と、ブランド力の向上に寄与できた。</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド・デザイン専門家 WEBデザイナー
保有知財の棚卸し取引企業等との契約基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>取得済みの知財権の洗い出しを実施。この過程で、商標権侵害が認められた案件が生じたため、相手方に注意喚起文書を送付など、対応処置を実施できた。</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド・デザイン専門家
廃業した取引先問題への対策の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工先探索は国内は不調に終わるも、中国にルートを求め、行政関係や物流事業者等の協力も取り付け、今期中の納品を確保できた。</li> </ul>	中小企業診断士 ブランド・デザイン専門家
技能伝承のための地域ネットワーク構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域団体商標の取得により、地域行政の視点が変わり、補助金取得や地域活性化に向けた活動に寄与でき、さらに、「川尻筆」ブランドの広報活動に大きな影響を与えた。</li> </ul>	中小企業診断士

## 支援チーム紹介

主担当専門家: 販売戦略コーディネーター 楠本秀利  
 活用専門家: ブランド・デザイン専門家、WEBデザイナー  
 知財総合支援窓口担当者: 広島県知財総合支援窓口 荒木啓二  
 PO(プログラムオフィサー): 松村教司・青木高志